

ラビット通信

発行元 / 東住吉区役所 区民企画課 地域安全・防犯・防災 なでしこラビット隊 2015年12月 発行
 〒 546-8501 東住吉区東田辺 1-13-4 TEL 06-4399-9990 FAX 06-6629-4564

- ★ 南田辺小学校「わがまち安全探検隊」 1面
- ★ 「出前講座」・自転車を盗難から守ろう・区役所キャンペーンのお知らせ 2面
- ★ のびのびワクワク体験広場 in オータムフェア 3面
- ★ 小中学校での防災訓練・ラビット防災通信 4面

南田辺小学校「わがまち安全探検隊」

区主催の事業「わがまち安全探検隊」を10月28日(水)、29日(木)の二日間にわたり、南田辺小学校4年生 114人が21班に分かれ、まち歩きと防犯マップ作りを行いました。

この事業は、地域の探検と防犯マップ作りを通し、様々な“気づき”から子どもたち自身の危険を回避する力を高めることを目的として行っています。

地域の探検では、自分たちの住むまちの「素敵・きれい・不思議・危険」などを発見していき、感じたことを書き留め、地図にその場所を記入し、記録として写真を撮っていきました。また、お店やまちの人にインタビューすることで、そのまちの歴史や現状、知らなかったことを教わる機会となり、気になるお店にすすんで入ったり、声をかけたりしながらまち歩きしました。

マップ作りでは探検した地域の拡大地図に、気づいたこと・感じたこと・危険だと思ったことなどを紙に書き、撮影した写真と並べて貼り付けていきました。危険とした箇所では、どうしたらいいのかなどその対策を話し合い、地図に書き込んでいきました。

最後に、完成した防犯マップを班ごとに掲げ、素敵なところや危険だと感じたこと、探検隊に参加した感想を発表してもらいました。「身近に危険な場所があった」、「危険から身を守るためにどうするか」など対策も上手にまとめ、「素敵なところ」もたくさん発見し発表してくれました。

この事業には連日、地域振興町会、見守り隊、PTA、東住吉警察署、大阪府警本部子ども安全見守り隊サポーター、ハートフレンドからたくさんの方々にご参加いただき、ご指導・ご協力をいただき安全に実施できました。マップの完成を楽しみにしててください。



～ ラビット隊 出前講座 ～

平成27年12月12日（土）、桑津連合にあるマンション、パークグラン北田辺にて居住者向け安全講習会を出前講座という形で行いました。

今回の出前講座を実施する経緯として、ラビット隊が日頃より行っている幼稚園・保育園・小学校向けの安全講習会に、マンション管理会社から興味を持っていただき、マンション居住者向けに実施してほしいと依頼があり講習をしました。

当日は、子どもたちだけでなく大人の方にも多数参加していただき、内容については、不審者対応DVDと防犯標語“いかのおすし”を題材にして不審者対応について安全講習を行いました。

参加していただいた方々からは、楽しみながら学ぶことができ、子ども向けの内容ではあったが大人の目線でも学ぶことがたくさんあり、参考になりましたと言葉をいただきました。

初めての試みとして、出前講座という形で安全講習会を実施しましたが、今回は子どもたちだけでなく、日ごろ接点の少ない大人の方にも聞いていただき、関心を持っていただいたことで、非常に意味のある出前講座となりました。

ラビット隊としては今後も地域から要望があれば、積極的に出前講座を行い、安全啓発を実施していきます。



自転車を盗難から守ろう！

東住吉区内でも、自転車の盗難が多く発生しており、その件数は減ることがありません。スーパーやコンビニなどお店に入るときや、用事で少し家に寄ったときなどでも、きちんと自転車を施錠していますか。車種や大きさに関係なく、無施錠の自転車は狙われます。また、施錠していても鍵の種類によりその安全性も変わります。

自転車のプレス錠は、解錠する時に馬蹄錠の赤色部分に鍵を挿し込んで、一方向に押しこみ開錠するので簡単便利ですが、その反面、工具などで簡単に壊される恐れがあります。

シリンダー錠は、解錠する時に馬蹄錠の赤色部分に鍵を挿し込み、回転させて解錠する鍵で、さらに鍵の内部が複雑な組み合わせになっており盗難に強い鍵です。

馬蹄錠	プレス錠	シリンダー錠
		

ご自分の自転車を確認し、盗難に遭いにくい『鍵』に交換してみてください。

区役所では 毎月第3金曜日に庁舎北側にて区役所キャンペーンとして、自転車前かごのひたくり防止カバー取付けに加え、自転車の鍵をシリンダー錠の鍵へと、無料で取替えを行っています。数に限りがございますが、下記の日程で行いますのでぜひご来庁ください。

自転車前かごのひたくり防止カバー取付け・自転車シリンダー錠の鍵へ取替え・・・
区役所安全キャンペーンは 1月15日（金）午後4時～ です♪♪

のびのび・ワクワク体験広場 in オータムフェア

11月14日（土）に長居公園植物園内芝生広場にて「のびのび・ワクワク体験広場 in オータムフェア」が開かれ、今年も防犯・防災ブースとしてラビット隊も参加しました。

午前中は晴れ間もあるいいお天気でしたが、夕方から雨が降りだすあいにくのお天気となり、来園者は例年より少なく感じましたが、たくさんの親子連れ、ご家族、子どもたちのグループが工作やゲームやワークショップなどの体験や学習を楽しんでいました。

クイズにチャレンジ

ラビット隊のブースでは「あんしんあんぜん なっぴーの缶バッチづくり」をテーマにした安全・防災啓発を実施。クイズ形式で学んでもらう「防犯・交通安全クイズ」と「防災クイズ」を用意し、〇×クイズにチャレンジしていただきました。

お父さんお母さんが、クイズに悩んでいるお子さんに優しく教え、特に防犯クイズではその答えとなる理由もしっかり教えている姿が印象的でした。

防災グッズの展示

「備えよう防災」では、非常時持ち出し品や備蓄品など、各家庭で準備していただきたい物品を展示。災害に見舞われ避難せざるを得ない状況となる前に、事前に準備しておくことが大切です。実際に何を準備をすればいいのか現物を見ていただきました。

青パト乗車体験

区役所の青パトを展示して乗車や写真撮影などしてもらう体験コーナーも実施しました。運転席に座ってみたり、青色回転灯を回してみたりと、初めて乗車する青パトに大人の方から子どもまでたくさんの方に体験していただきました。

なっぴーの缶バッチ作り

毎年、大好評の“なっぴー”が描かれ「なでしこラビット隊」のロゴが入った缶バッチをその場で作り、クイズに答えていただいた方々にプレゼントしました。バッチは、なっぴーの動きや背景の色や模様の違うもの、自分の名前が記入できるものなど、12種類のデザインを用意し、その中から選んでいただきバッチにしました。色を塗ったり模様を描いたり、自分や家族の名前を記入したりと、世界に1つしかない個性あふれる缶バッチを手にとっても喜んでいただきました。



各小学校・中学校で地域と連携した防災訓練を実施！！

「自助力」・「共助力」を高め、大規模な災害に備える
地域防災リーダー、地域住民と協力して小・中学生が防災訓練！

区内の多くの小学校や中学校で、土曜日授業の一環として、児童と地域防災リーダー、地域住民の方々が一緒になり、防災訓練を実施しています。

可搬式ポンプを使用した放水訓練や水消火器による消火訓練。ジャッキを使っでの倒壊家屋からの救出訓練。AEDでの救急救命処置や毛布を使用した搬出訓練などを学び、積極的に訓練に取り組んでいました。

経験のある防災リーダーが指導する場面や、小・中学生と地域の方が共同・協力して防災活動をする訓練となっていたのが印象的でした。

矢田東小学校の訓練では、登校時間を利用して一時避難所から小学校までの道のりを、児童と地域の方が経路を確認しながら歩く避難訓練を実施。また、中学校では自分たちが住んでいる地域で災害時に役立つ場所や避難所、救助資器材やポンプ庫の場所、AEDの設置されている場所など、地図に書き込み災害時の街の「強み」や「弱み」を認識することができました。

各訓練では、消防署や地域防災リーダー、地域住民と小・中学生が一体となった訓練となり、災害時には地域に通学する小・中学生はすぐに活動できる存在であることから、「自助・共助」の原動力になることを再認識し、有意義な訓練となっています。



ラビット防災通信 ⑩避難所生活の知恵と工夫

災害により避難所生活を余儀なくされたとき、快適に過ごすことができるでしょうか？

避難所では、水や食料、タオルなどの物資が不足していたり、ライフラインが寸断されていたりと、厳しい避難所生活を強いられることが予測できます。

限りある資源の中で、避難所生活を少しでも快適なものにするためには、知恵と工夫が重要になってきます。

そこで、新聞紙やビニール袋やレジ袋などの日用品を使い、本来の用途とは”違う目的”での使用方法やその作り方を次号から紹介していきます。

チャレンジしてみてくださいね。



この1年間、ラビット通信をご愛読いただきありがとうございました。
2016年も、「安全で安心してらせるまち東住吉」をめざして、防犯・防災活動に取り組みますので、よろしく願いいたします。